

試験名

Ph+ALL202 付随研究3. **終了**

イマチニブ耐性Ph陽性急性リンパ性白血病におけるABL塩基変異の解析に関する研究

研究事務局：埼玉医科大学 血液内科 矢ヶ崎 史治

概要・目的

治療前と治療不応時の白血病細胞 RNA を用いて ABL 塩基変異の有無を検討し、ABL 遺伝子変異の臨床的意義を明らかにする。

対象

- ・ Ph+ALL202 試験に登録されている症例
- ・ 再発あるいは治療不応例
- ・ 本随伴研究への参加について文書による同意が得られている

目標症例数

30 例